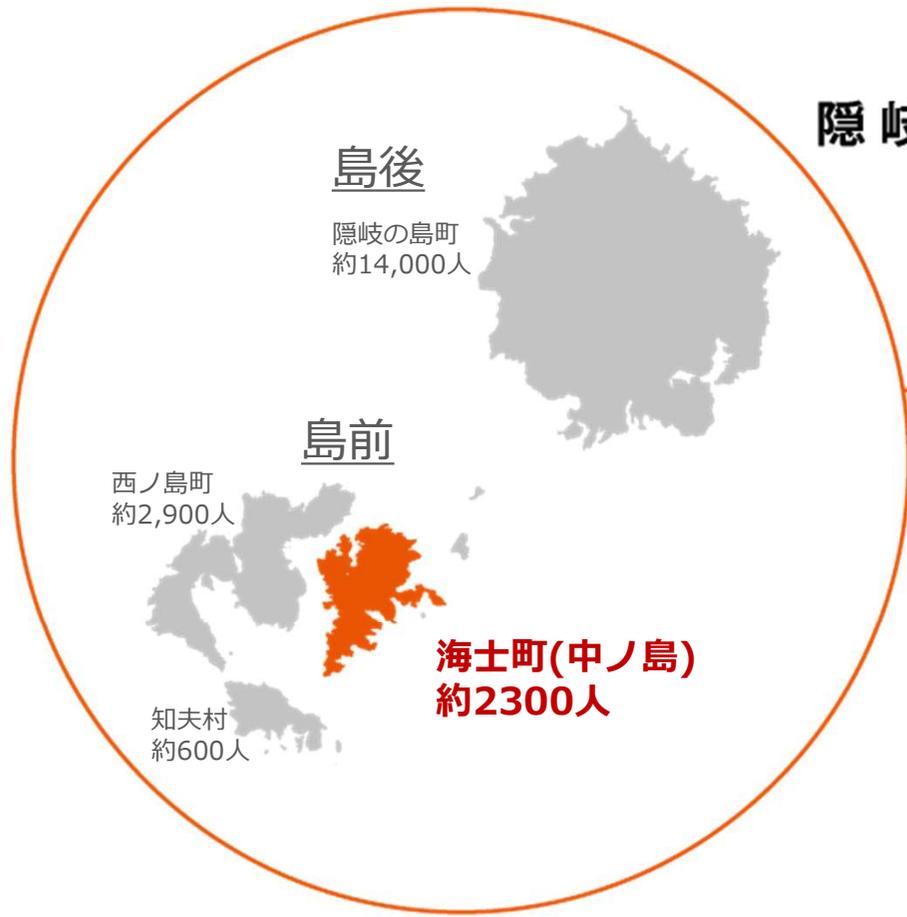


# ないものはない～離島からの挑戦

島根県海士町

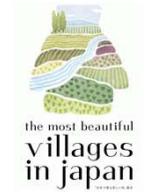


# うみのサムライと書いて「あま」と読みます



## 隠岐諸島

日本海の島根半島沖合約60Kmに浮かぶ  
隠岐諸島の中の一つ中ノ島を「海士町」といい1島1町の小さな島。  
(面積33.52 km<sup>2</sup>、周囲89.1km)





対馬暖流の影響を受けた豊かな海と、名水百選に選ばれた豊富な湧水に恵まれ、自給自足のできる半農半漁の島。



平城京跡から隠岐國・海士の「干シアワビ」等が献上されていたことを示す木簡が発見される。

※御食つ國：朝廷に海水産物を中心とした御食料を貢いだと推定される国

# 人を受け入れる土壌と文化

島根県海士町



5

後鳥羽上皇や小野篁など多くの歴史的人物の配流地である海士町。  
古くから、人を受け入れ、もてなす土壌と文化が育まれてきた。

©海士町



スローガン

# 「ないものはない」

## ①ありません

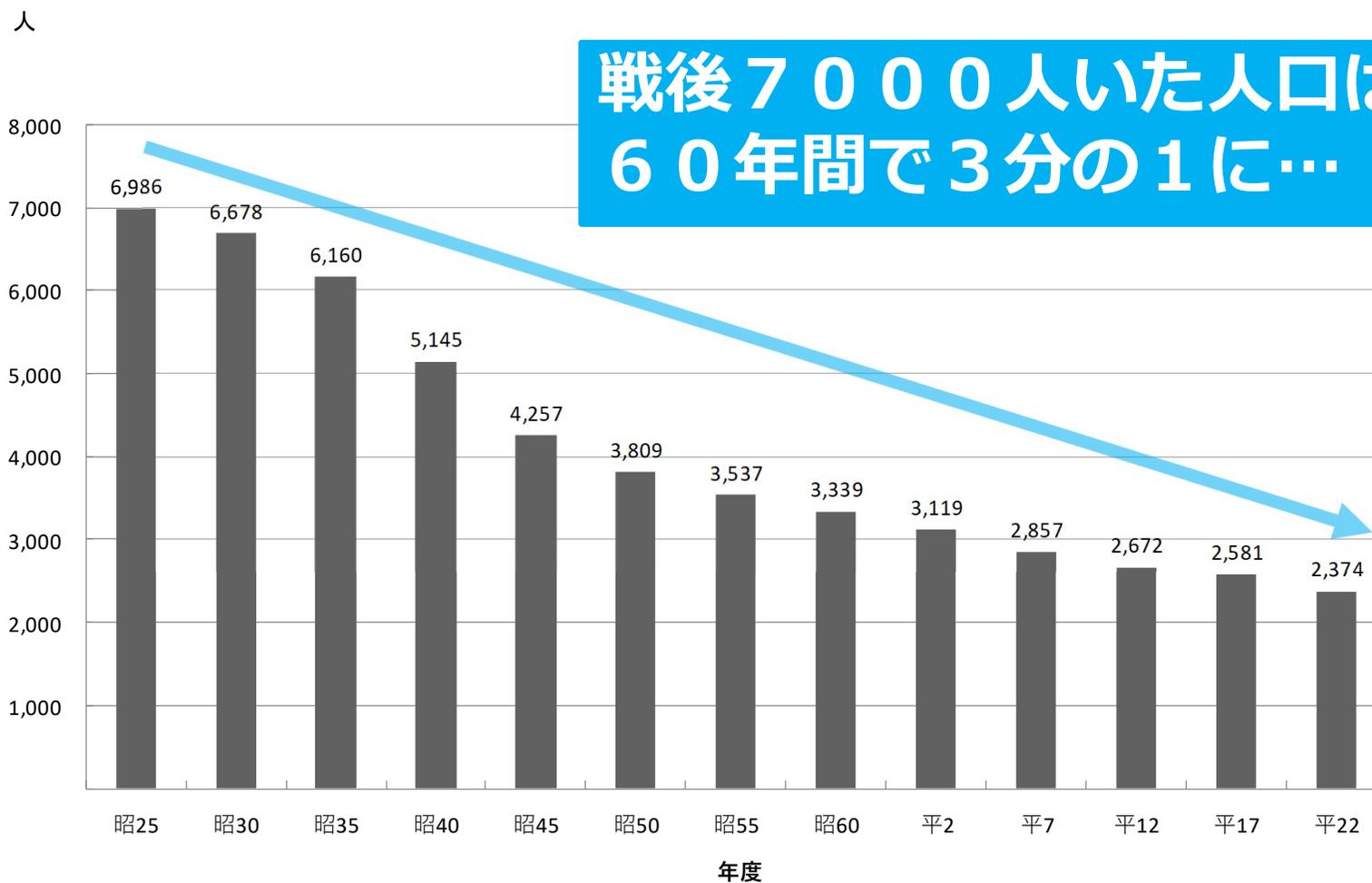
都会のような便利なもの  
がありません  
でもなくていいんです

## ②すべてあります

人が生きていくために  
大切なものはすべてこ  
こにある

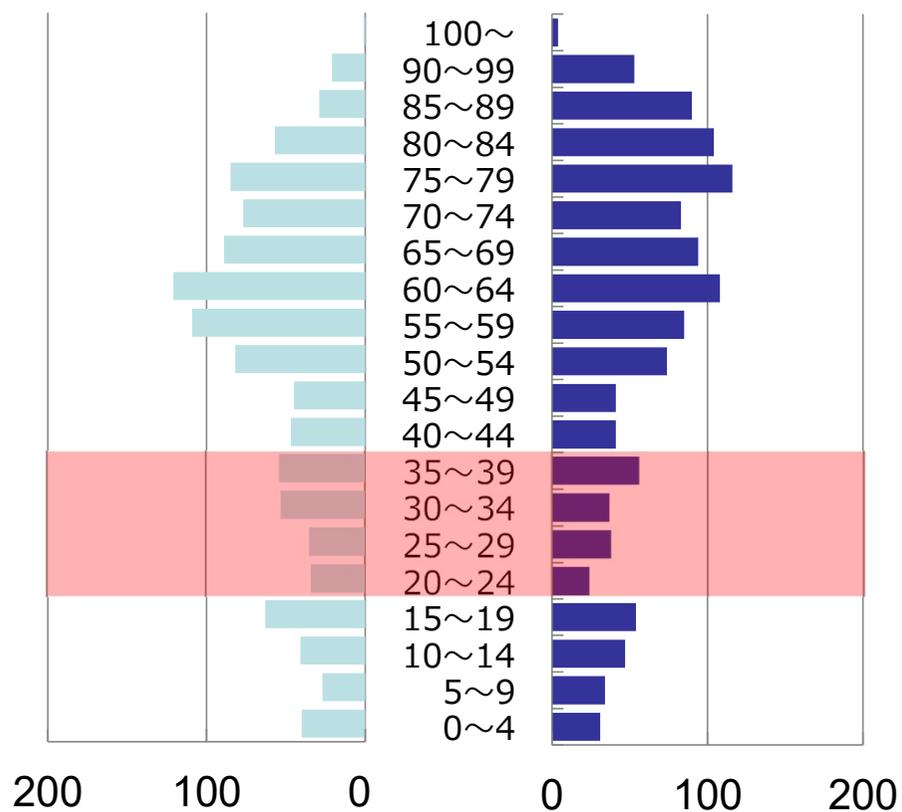
## ③ないならつくる

みんなで創る過程にこそ  
意味がある





人口構成



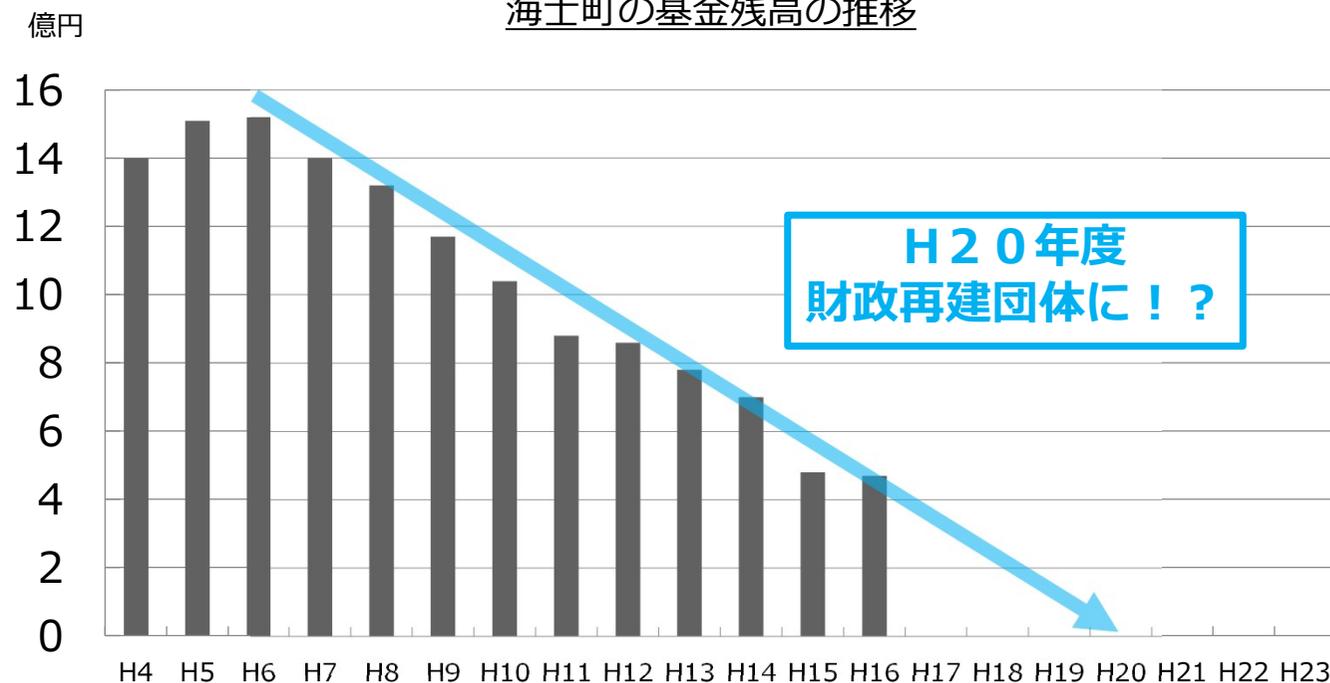
高校卒業後、ほとんどが島外へ。  
20~30代の地域活力が極めて低い。

高齢化率は41%

# 超財政難…地財ショックの到来



海士町の基金残高の推移



平成の大合併による隠岐3島（島前地域）の合併は断念…単独町政を決断した直後、H16年の三位一体の改革による地財ショックが発生。

- ・「国庫補助負担金の廃止・縮減」
- ・「税財源の移譲」
- ・「地方交付税の一体的な見直し（総額を抑制）」



公共事業で生き・生かされてきた島。住民の暮らしは改善されたが、体力以上に膨らんだ地方債。

その額はなんと **101.5億円**

## 島が消える…どう生き残る？



行政・議会・住民が一体となり 自立促進プラン を制定  
「守り」と「攻め」の  
両面作戦を決行



## 自らの身を削らない改革は支持されない！

### 給料・報酬カット

三 役 ▲50%~40%  
職 員 ▲30%~16%

議 員 ▲40%  
教育委員 ▲40%  
区 長 ▲10%

当時、日本一給料の安い公務員に！

### 給与・報酬カットによって

- ・老人クラブ等  
バス料金値上げ、補助金返上
- ・各種委員  
日当減額申し入れ
- ・給与カットの一部で  
「子育て支援」を後押し  
→出産祝金、保育料無料化等  
人件費の5%を目的化

## 人件費削減効果（H17）約2億円

# 産業振興策による「攻め」の戦略

資源を活かした  
しごとづくりへの挑戦

若者との交流による  
まちづくりへの挑戦

教育魅力化による  
ひとづくりへの挑戦



これまでの海士町の取り組みは…

島根県海士町



13

真新しいことはせず

今ある資源を磨き、  
交流を通じて挑戦を展開

# 続々と島に集結 人材が人「財」に



全国から40代以下の移住者が続々と集結！  
※平成16年度～令和3年11月末の18カ年で

**移住873人（622世帯）**

定着率約47% 今や人口の約18%が移住者

# 一定の成果をあげてきたが…



しかしながら…さらなる課題が山積（一例）

- ・ 地域内経済循環率の低さ
- ・ 地域内事業者の活力低下
- ・ 産業を担う人材不足や農林水産業の後継者不足  
などなど



## 自立・挑戦・交流 継承・~~×~~団結

～心ひとつに！みんなでしゃばる島づくり～

「しゃばる」とは、海士の方言で、「強く引っ張る」という意味。

これまでの町政の指針である「自立・挑戦・交流」を踏襲し、質的転換を図りながら、  
深みのある奥行き感のある島づくりを進め、  
さらに、海士に根づいた伝統文化や半農半漁の暮らしや絆を大切にした  
「継承・団結」の思いのもと、  
みんなで引っ張る島づくりを目指す。

そのためには、半官半~~X~~という多様な働き方を実践



## ① 宿泊施設を軸とした観光振興策

## ② 島の外からお金を稼ぎ地域へ還元する仕組みづくり



## 外貨創出による地域振興に資する動き

### ① 宿泊施設を軸とした観光振興策（取り組み）

- 隠岐地域は離島のため、日帰り観光が難しい
  - ◎ 課題1 隠岐地域の観光客の減少（40万人→20万人、さらにコロナにより回復は厳しい状況）
  - ◎ 課題2 観光客の減少に比例して、宿泊施設が減少
  - ◎ 課題3 旅行代理店の団体ツアーに依存
  - ◎ 課題4 効率を求め簡単便利な食材を島外から調達 → 地域内経済循環率が低いため地域にお金がおちない
  
- 宿泊施設の魅力を高め、滞在型観光の満足度をあげる必要がある
  - ◎ お客様のターゲティングと宿泊施設のポジショニングを明確化
    - ① 島宿（民宿・旅館）：その宿の特徴・個性を活かす（郷土料理、文化、人情、音楽、女性、など）
    - ② ホテル：今までアプローチできなかった富裕層、インバウンド外国人、強力な海士町ファン、など
    - ③ B&B：主にビジネス利用、食事は島内の飲食店と連携
    - ④ レンタルハウス：中長期滞在向け、自炊を可能にすることで島の生活を体験
  
- 島に創りたかったホテルコンセプト  
手段ではなく目的としてのホテル／ホテルではないホテル（地域が主役）／ないものはない（海士らしさの洗練）
  - ◎ 構想から6年 みんなで議論し完成したのが、隠岐ユネスコ世界ジオパーク泊まれる拠点施設 Entô
  
- 観光振興から地域振興へ 島の外からお金を稼ぎ地域に還元する



## Entô

今までアプローチできなかった  
富裕層・インバウンド外国人・強力な海士町ファン  
などをターゲットに

2021：7000人

2022：9000人



観光振興から地域振興へ 島の外からお金を稼ぎ地域へ還元する



# TADAYOI

官民共創

地域おこし企業人制度を活用  
島をまるごと楽しめるグランピング施設

2023.06オープン

2023 : 2000人



島の食材や文化に触れるきっかけを創りながら、海士町ならではの観光体験・感動体験を共に創る





## ふるさと納税

2019 : 39,000,000  
2020 : 120,000,000  
2021 : 210,000,000  
2022 : 239,000,000



2020年度からAMAホールディングス株式会社にふるさと納税事業を業務委託

## 未来共創基金

2021 : 20,000,000

2022 : 40,000,000

2023 : 42,000,000

一般社団法人海士町未来投資委員会



ふるさと納税額の約25%程度を未来共創基金に拠出し住民の皆様が“島の未来を創る”ための挑戦を後押し

**島の外からお金を稼ぐには...**

**魅力的で持続可能な島で  
なければならない**

さらなる挑戦 町民一人ひとりが幸せを実感できる島を目指す

島根県海士町



ひとの還流  
暮らしの環境  
里山里海の循環

海士らしく“みんなでしゃべる！” 承前啓後の島づくり

©海士町



半官半X  
兼業型  
公務拡大型



海士町半官半X推進における目的と定義を定める条例（令和4年条例第2号）を制定

# 働き方をデザインする“海士町複業協同組合”

島根県海士町



27

## 海士町複業協同組合

2020：職員 1名（5社）

2021：職員 6名（14社）

2022：職員 7名（21社）

2023：職員17名（29社）

※カッコ内派遣先の数



海士町複業協同組合（AMU WORK）は法律に基づき国から認定を受けた海士町内の人材派遣会社です。

離島がもっと身近な場所に  
就職でも、転職でもない「大人の島留学」

島根県海士町



28

## 大人の島留学

2020： 21名（うち、就職6名、延長6名）  
2021： 54名（うち、就職7名、延長8名）  
2022： 110名（うち、就職25名、延長48名）  
2023： 135名（ ）



3か月～1年間 島の暮らしと仕事に挑戦できる就労型お試し移住制度です。

©海士町

# 離島にもっと若者の還流を。 人材の「還流おこしプロジェクト」

島根県海士町



29



## 還流おこしプロジェクト

滞在人口創出による社会増を生み出す人口目標

2023：2300人

2025：2500人



半官半Xや複業組合など、多様な働き方を推進することで雇用創出を図り、還流人口が結果的に定住へ

# 人口減少へ歯止め

人口の推移（人口問題研究所の予測値と国勢調査の比較）

島根県海士町



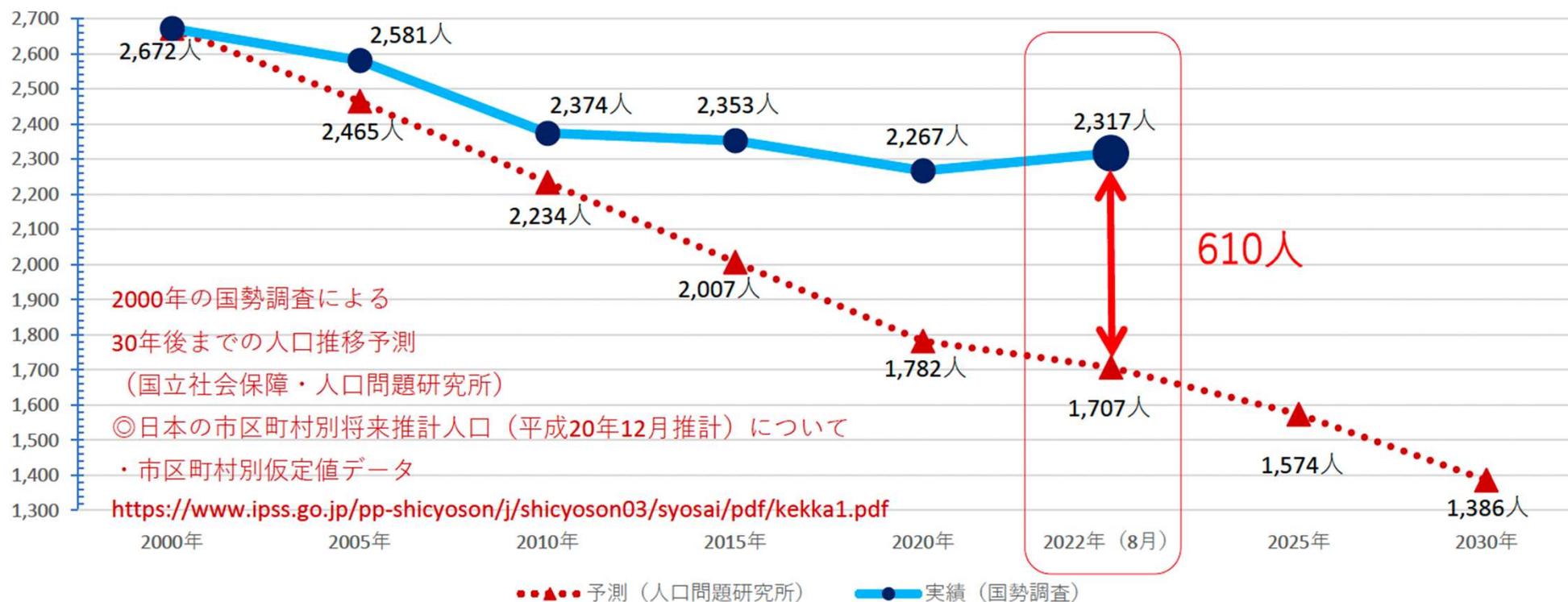
令和2年国勢調査  
(2020年10月)

**2,267人**



令和4年島根県公表値  
(2022年8月)

**2,317人**

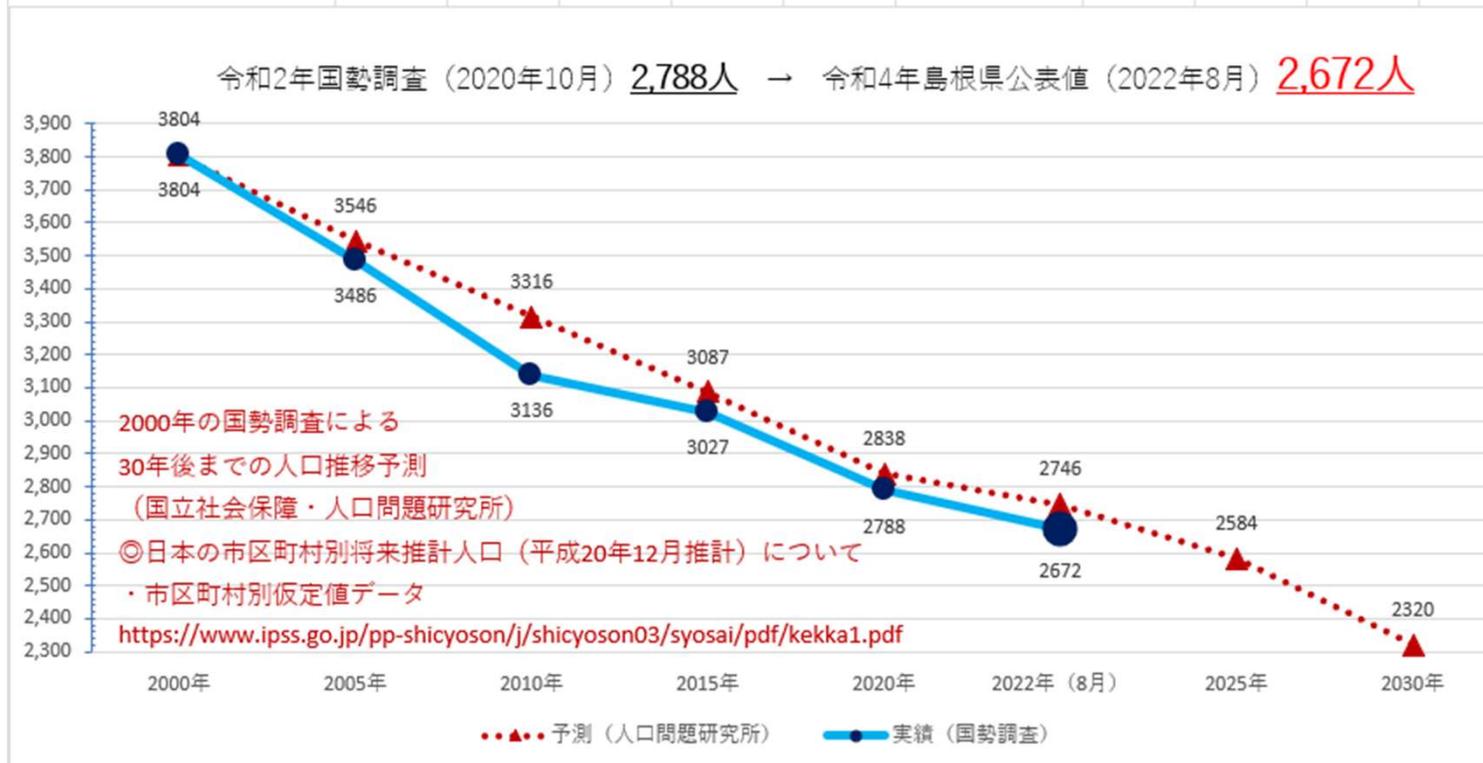


# 参考データ（西ノ島町）



人口の推移（人口問題研究所の予測値と国勢調査の比較）

西ノ島町	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2022年（8月）	2025年	2030年
予測（人口問題研究所）	3804	3546	3316	3087	2838	2746	2584	2320
実績（国勢調査）	3804	3486	3136	3027	2788	2672		

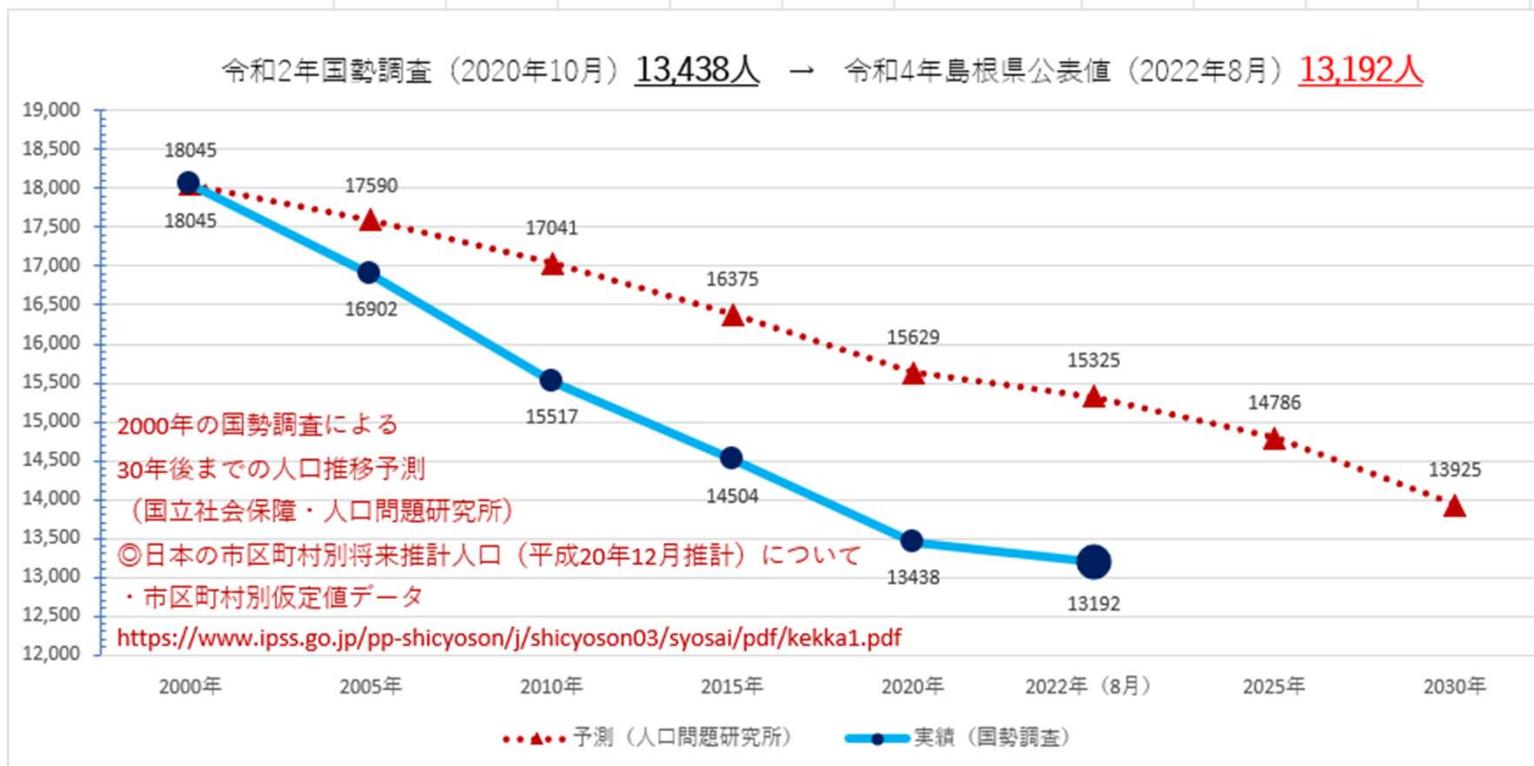


# 参考データ（隠岐の島町）



人口の推移（人口問題研究所の予測値と国勢調査の比較）

隠岐の島町	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2022年（8月）	2025年	2030年
予測（人口問題研究所）	18045	17590	17041	16375	15629	15325	14786	13925
実績（国勢調査）	18045	16902	15517	14504	13438	13192		



# 還流が動き始めた

人口の推移（人口問題研究所の予測値と国勢調査の比較）

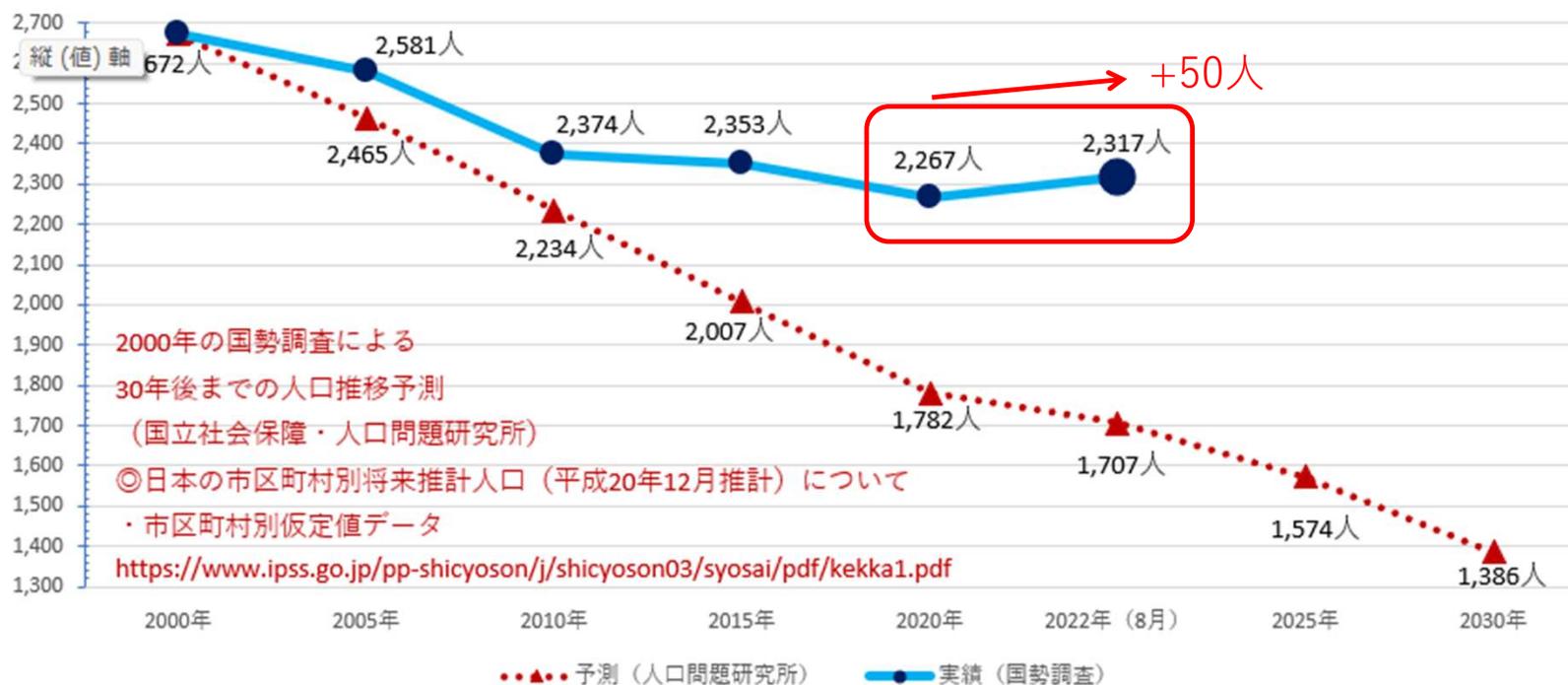


令和2年国勢調査  
(2020年10月)

**2,267人**

令和4年島根県公表値  
(2022年8月)

**2,317人**





- ひとりひとりが**主役**になれる島  
だっでも（誰でも）  
あんきに（気楽に）  
おもっしえ（面白い）島に

ただし…



# 島の大きな課題



## 住宅難民が大量に発生

## 海士町1100世帯

町営住宅 260戸

住宅待ち 80件

建設10戸/年

大工さんも限られている





こういう

失敗も





## 大きな壁

**建設コストの上昇(10年前の1.3倍)**

**2025年から新築住宅の断熱等級義務化**

**職人不足、技術力低下**



人口の数を追い過ぎず、  
島に住む人たちの暮らしの豊かさ



- ひとりひとりが**主役**になれる島  
だっでも（誰でも）  
あんきに（気楽に）  
おもっしえ（面白い）島に